



## 雨水の候



主任  
家庭支援専門相談員  
森田 佳代



### 児童家庭支援センター わかくさ

子どもや家庭のこと  
に関する相談を受け付けています。誰かに  
話を聞いてほしい…  
という方など、お気軽にご相談下さい。

☎ 0880-31-0311

### 拝啓

雨水の候 皆様におかれましてはいっそうご繁栄のことと拝察いたします。

「雨水」の日はひな人形を飾るのによい日とされてきました。この日に飾ると良縁に恵まれるといわれています。子どもたちがすこやかに育ち、幸せになってほしいという願いがこめられ、今年も若草園のホールに飾られています。

思えば私も30年近く養護施設で過ごしてまいりました。平成20年に新園舎が完成し、家庭的養育を目指して実践してきたこの年月は、それまで私たちが経験できなかったことや成し得なかったこと、見られなかった姿をかぞえきれないほど見ることができました。もちろん毎日良いことばかりではありませんでした。大切に建てられた家も、何度もあちこちが壊れたかわかりません。大事にしてきたお皿もグラスも、いくつ欠けたかわかりません。心を痛める日々も続きました。しかし、お互いが違いを認め合い助け合ってきた生活は思っていた以上の効果が見られたのも事実であります。

人の生活は、大人が子どもにこうであれと示す一方的な働きかけではなく、ともに心を開いて生活する場所として、互いの思いや考えを聞き、尊重していくなければならないと改めて思い知らされます。

私たちのこの生活は私たちなりに出した唯一の「結論」としてではなく、模索しつつ「現在進行形」のひとつの生活スタイルとしての暮らしです。

これから多くの方々とともに、よりよい実践を探しつつ、「未来に向けての今」を過ごしていきたいと思います。

水仙が優雅に咲く時節、どうぞ幸多き充実した春をお迎えください。

敬具

今年卒園するNくんと園長との  
息の合った餅つきでした！



好きなご飯を食べて  
いって下さいね～。



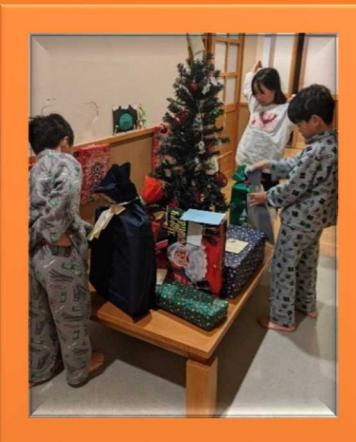
大谷泰吾&旅行気分さんと  
高校生のコラボライブ。  
生バンドで歌う姿は、より  
かっこいい!!



### クリスマスの朝

いつもより早起きの子どもたち。  
ツリーのそばにはサンタさんから  
のプレゼント。  
そして今年もドテラさんから  
プレゼントをいただきました。

これは誰の？  
どちらにあけようか！  
嬉しい楽しい瞬間です。



お祭りワッショイ！

K・I

サッカーチームのみんなと市民祭

でちょうちん台をかついだ絵です。

工夫したところはちょうちん台が

動いて見えるように大きさをかえ

たり、明るさを調せつしたりしたこ

とです。絵の具とクレパスを使つて

はだの色を人それぞれ変えるのを

がんばりました。

まさか銀賞をとれると思つていな

かったのでびっくりしたし、すごく

うれしかったです。次は金賞を目指

したいです。



雨天を予想し、庭にテントを張  
って鉄板を準備していました  
が、あまりの雨風に火がつかず、  
急遽ガスコンロを使っての焼き  
そばづくりになりました。

### クリスマス 祝会

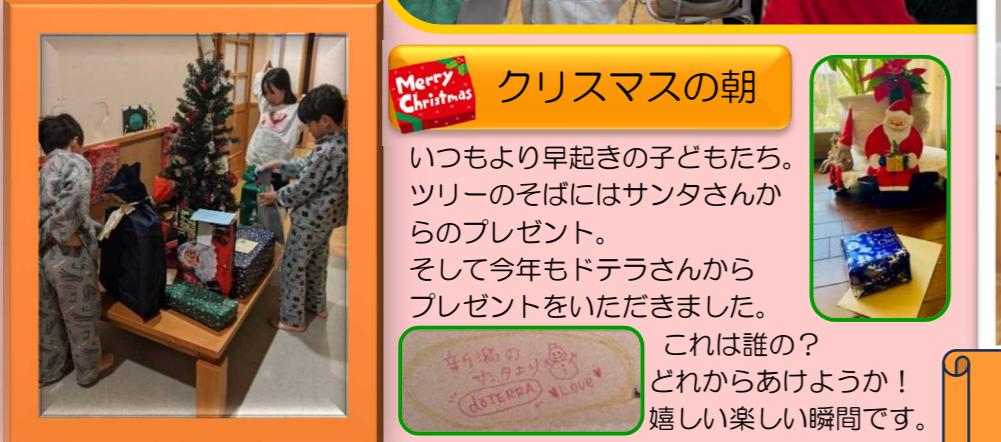
今年もホール  
に集まって皆  
でお祝いしま  
した。



### 表彰式



高知県児童養護施設協議会 児童絵画展へ出品  
していた小学生4名が、それぞれ審査員奨励賞・  
会長賞を受賞し、表彰されました。  
その中から1君の作品は全国へ選出されました。



### 銀賞受賞



お祭りワッショイ！

K・I

全国児童養護施設協議会

児童文化奨励絵画展で

銀賞を受賞しました！

お祭りワッショイ

若草園

小4 K・I さん



幡多ちんどんクラブさんと、飛び入り  
参加の子どもたちが会場を盛り  
上げてくれました。

お琴の演奏もありました。



普段は別々のホームで  
生活していますが、会う  
と楽しそうに集まっている  
中高生。  
そんな姿を見ると嬉しくなります。



中村ロータリークラブの方が  
盛り上げて下さり、初めは恥  
ずかしそうにしていた子ども  
たちもいざ杵をもつと力いっぱい  
に振り上げて餅つきを楽しんでいました。  
なによりロータリークラブの  
皆さん方が本当に楽しそうに餅  
つきをされていて、そんな  
本気で楽しむ大人の姿を間近で  
見られるというのもいいものだな～  
と感じたことでした。

ありがとうございました。



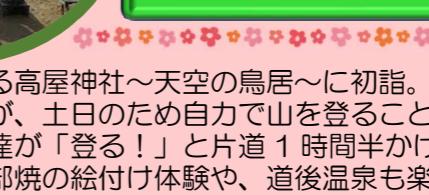
### 陶芸体験



### みかん狩り



### ホーム旅行



毎年恒例  
百人一首の源平合戦！今年の勝者は  
平家でした。写真は  
自由参加での個人戦の熱戦の模様です。

せんざいも 😊



この写真は21年  
前の源平合戦の様子  
です。懐かしい和室  
にて伊豆先生と。今  
も変わらず続いてい  
ます。



### リース作り



# 令和6年度上期 ご寄付

(令和6年4月1日～令和6年9月30日)



みなさまに心から感謝申し上げます。<50音順・敬省略>

## \*寄付物品

高知市教職員組合 (図書カード)



沢良木 (おもちゃ・子ども服)

ダスカ&デシレー (チョコレート)

田辺恵美子 (お米)

匿名① (お米・玉子券・図書カード・QUOカード)

匿名② 2回 (駄菓子詰合せ)



匿名③ (新生児用オムツ)

久松長男 (ぶり)

細川秀信 2回 (猪肉・玉ねぎ・じゃがいも)

渡辺農園 渡辺一朗 (小夏)

→以上 12 口 10人 時価総額 69,380 円

## \*寄付金

片岡聖信

河内屋商店

谷脇睦夫

土曜ROCKの会



林博

宮部水秋

宮本佳彦

三好琴喜

→以上 8 口 182,702 円



## 編集後記

若草園は開設当初よりイエス・キリストの愛の精神を掲げており、今も月に2回子ども礼拝と職員礼拝があって中村栄光教会の牧師さんが説教して下さいます。その中に「豊かな人生」というテーマのお勧めがあったので紹介したいと思います。

「豊かな人生」とはどのような人生でしょうか。健康・お金・友人・教養・知恵に恵まれた人生。確かにそういうものがあるといいのですが、真の豊かな人生とは苦しみや悲しみを経験し、挫折や失敗を経験する、そういうマイナスに思えることをも含んだ人生であって、満たされた時もそれを宝とし、苦しみの時にもそれを宝とする人生が真の豊かな人生です。良いことも辛いことも宝とするということ、それはその経験によって生き方を学ぶということ、そしてだれかを励ます光となること。辛い経験を通して優しさや思いやりが育ち、傷ついた経験が誰かの慰めとなる。ベトナムに最上級の香がとれる「伽羅」というのがあり、それは木が動物などに傷つけられた傷跡、かさぶたなのだそうです。木は傷つくと樹脂を分泌し、傷口をふさぐ。その樹脂が香木のもとになる。その樹脂は木が枯れて朽木となってしまって土にかえらざに残り、長い時をかけて不純物がバクテリアによって分解されて「伽羅」ができるのだそうです。痛々しい傷を宝に変え、すばらしい香りを放つ。人生の傷を、人を癒し生きる力を与える宝に変える。これこそが豊かな人生であります。

これからの人生の中で

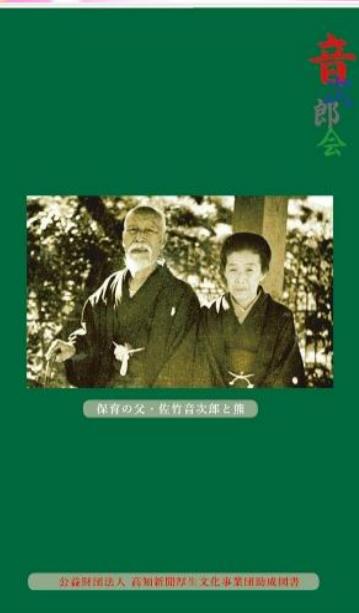
何度も振り返ってみたいと思った説教でした。 たなか

ありがとう。  
ございました！



この年末年始にもたくさんの寄付をいただきました。ありがとうございました。  
令和6年度下期のご寄付は次号にて紹介させていただきたいと思います。

おしゃせ



「竹島出身の保育の父・佐竹音次郎の新しい伝記が発刊されました。講読を希望される方は若草園内音次郎会事務局へお問い合わせください。 せと



## 若草園の年末年始

年末年始、久しぶりに家族や親戚

と過ごした子ども、ホームでいつもより少人数で過ごした子ども、里親さんや職員の実家で過ごした子ども、それぞれの年越しがありました。そんな中、卒園生も顔を見せにきてくれていました。卒園して初めて迎える年末年始を、もと居たホームで子どもたちと一緒に過ごした人、帰省したついでに園に寄ってくれる人、卒園後も職員の家に帰省していた人などさまざまですが、その中でいつも歯ブラシを寄付してくれる歯科衛生士の卒園生がいます。卒園してから数年が経つので、現在園している子どもたちのほとんどと顔も名前もお互いに知らないという関係ですが、その卒園生がくれる歯ブラシが磨きやすくてお気に入りだと教えてくれた男の子がいます。若草園の歴史の中で、たくさんの子どもたちの生活があつて、今の子どもたちにつながっている。嬉しかったこと、辛かったこと、悲しかったこと、もっとこうして欲しかったこと…たくさんの想いがあつて、今社会的養護がある。その歯ブラシの話を聞いて、子どもたちの顔がいくつも思い起こされました。

